

令和 8 年度 学校経営方針

小平市立小平第六小学校 校長 寺尾 千英

◇学校教育目標◇

- 考え、行動する子（自立）
主体的に考え、学び、行動することができる力を育成する。
- 共に学ぶ子（共生）
多様な個性や特性、背景を有することを互いに認め合い、共に学ぶ姿勢を涵養する。

◇基本方針◇

児童が自分らしく、互いに認め合いながら学ぶことができる教育活動・学習環境づくりを行います

- 基礎的・基本的な知識や技能を身に付けられるよう、学習活動を発達段階に合わせて工夫します。
- 一人 1 台の学習用端末を効果的に活用しながら、自分の興味・関心に基づいて学び方や課題を選びながら学習を進める体験ができる授業づくりに取り組みます。
- 学級や学年、学校という社会の中で、児童が多様な他者と関わりながら考え、選択し、決定する、あるいは発表する、制作する等の活動を通して、人間関係を築き、共に生きていこうとする姿勢を育てます。
- コミュニティ・スクールとして、地域の皆様と共に児童を育てる教育活動を行います。
- 教員と専門職員がチームとして協力しながら効果的・効率的な学校運営を行います。

◇重点を置いて取り組む内容◇

1 一斉学習・個別学習・協働学習を効果的に取り入れた授業

- みんなで同じ内容に取り組んだり、一人ひとりの習熟や興味・関心に合わせて個別に進めたり、ペアやグループ、オンライン上で情報交換しながら考えを深めたりと学習の仕方を工夫した授業づくりを行います。
- ノートやプリントなどのアナログと学習用端末に代表されるデジタル、それぞれのよさを発達段階に応じてバランスよく取り入れた授業を行い、児童の資質・能力を伸ばします。

2 多様な人との関わりを大切にされた教育活動

- グループ編成や指導体制（教科担任制、副担任制等）を工夫して、児童が日常的に他の学級の児童や複数の教員と関わり合いながら学ぶことができるようにします。第 3～第 6 学年で、各教員の専門性を活かした教科担任制を実施します。
- 異学年、地域の方、外部講師、異校種生徒・幼児などと関わりながら学習する機会を設定します。
- 小平市全体で取り組んでいる、特別活動における話し合い活動を充実させます。

3 児童にとって心地よく過ごせる居場所づくり

- 児童の意見表明を大切にし、教育活動に適宜取り入れながら児童が主体的に活動できるよう取り組みます。
- 何気ない会話を大切に、「いつでも、どこでも、誰とでも」の相談体制や定期的なアンケートを活用して、いじめにつながる行為への気付きと情報共有を行い、早期発見・早期対応を行います。
- 教職員の人権意識の向上・服務事故防止研修を引き続き行い、児童が自身の大切さが認められていることを実感できるような環境づくりに努めます。

◇家庭と学校との連携について◇

1 オンラインを活用した連絡、連携

- 朝の欠席・遅刻・早退連絡の他、体育の授業見学、お子さんの様子についてなど学校に知らせたい事柄についてオンラインフォームを使って連絡できるようにしています。連絡帳での連絡も引き続き可能です。
 - ① 連絡は当日の **8：15 までに送信** してください。欠席連絡がない場合は副担任等が電話連絡しています。遅刻時の登校予定時刻までに間に合わない時も必ずご連絡ください。
 - ② 電話連絡は 7：45～17：15 の間をお願いします。（時間外はメッセージが流れます）
※今後連絡可能時間帯が変更になる場合があります。
 - ③ 連絡をいただいた時間により、教員からの返信が翌日や週明けになる場合もあります。
※教職員の勤務時間は原則 8：15～16：45 です。

2 情報共有へのご協力をお願いします

- 学校からは、けがや病気の連絡の他、学校生活上気になることやいじめに関わることなどの連絡・相談を関係するお子様の保護者の皆様に行っています。ご家庭での様子から気になる点などありましたら、早めに学校へご連絡ください。お子様の健やかな成長に向け、教職員一同一緒に考え、支えていきます。